

注3

大学番号：030

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

群馬パース大学 保健科学部 放射線学科

群馬パース大学 保健科学部 臨床工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人群馬パース学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部

職名・氏名 部長・岡部 恒明

電話番号 027-365-3366

(夜間) 同上

F A X 027-365-3367

e-mail okabe@paz.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健科学部

<放射線学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

<臨床工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	42
4. 既設大学等の状況	43
5. 教員組織の状況	44
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人群馬パース学園

(2) 大学名

群馬パース大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町三丁目3番4
(〒370-0006 群馬県高崎市問屋町一丁目7番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒグチ ケンスケ) 樋口 建介 (平成21年6月1日)		
学長	(クリタ マサヒロ) 栗田 昌裕 (平成26年4月1日)		
学部長	(タカハシ マサアキ) 高橋 正明 (平成26年4月1日)	(フジタ キヨタカ) 藤田 清貴 (平成30年4月1日)	任期満了に伴い交代 平成30年4月1日 (30)
学科長等	(ツチヤ ヒトシ) 土屋 仁 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健科学部 放射線学科 学士(放射線学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	70人	— 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 (-) [-]	-人	70人 (-) [-]	-人	70人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人			
志願者数	596 (-) [-]	-	508 (-) [-]	-	522 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
受験者数	581 (-) [-]	-	497 (-) [-]	-	513 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
合格者数	153 (-) [-]	-	126 (-) [-]	-	152 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
B 入学者数	86 (-) [-]	-	77 (-) [-]	-	77 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.22		1.10		1.10						1.14倍	- 倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	86 [-] (-)	- [-] (-)	77 [-] (-)	- [-] (-)	77 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		84 [-] (-)	- [-] (-)	76 [-] (1)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		83 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			86 [-] (-)	161 [-] (-)	236 [-] (1)	- [-] (-)			- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	86 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学(1人)
平成30年度	161 人	2 人	平成29年度	0 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、家庭の事情(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	
令和元年度	236 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
合 計		4 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{86} = \boxed{2.32} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{161} = \boxed{1.24} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{236} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 放射線学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前		1							1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1							1
	数学B	1後		1							1
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1							1
	物理学B	1後		1							1
	英語リーディング	1前	1								1
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1								1
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1			1					
	情報リテラシー	1後		1		1					
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1		1					1
小計(36科目)	-										
科目群 共通基盤	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計(3科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								2
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前		1							1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1							1
	数学B	1後		1							1
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1							1
	物理学B	1後		1							1
	英語リーディング	1前	1								1
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1								1
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1			1				1	
	情報リテラシー	1後		1		1				1	
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1		1					1
小計(36科目)	-										
科目群 共通基盤	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計(3科目)	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1後	1								1
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1後	1								1
	病理学	1前	1								1
	薬理学	2前	1								1
	生化学	1前	1								1
	公衆衛生学	1後	2								1
	内科学	1後		1							1
	看護技術論	2後	1								1
	臨床心理学	2前		1							1
	画像診断学Ⅰ	2後		2							1
	画像診断学Ⅱ	3前		2							1
	医療基礎生物学	1前		1							1
	医療基礎数学	1前		1							1
	医療基礎化学	1前		1		1					
	医療基礎物理学	1前	1								1
	医療電気・電子工学Ⅰ	1前	2			1					
	医療電気・電子工学Ⅱ	1後		2		1					
	医療電気・電子工学演習	2前		1		1					
	医療電気・電子工学実験	2後	1			1					
	医療統計学	2後	1								1
	放射線医療学概論	1前	2								1
	放射線救急医学	2後		1		1					
	放射線文献講読Ⅰ	3前		1		1					
	放射線文献講読Ⅱ	3後		1		1					
	放射線物理学Ⅰ	2前	2					1			
	放射線物理学Ⅱ	2後	2					1			
	放射線物理学演習	3前		1				1			
	放射化学	2前	2			1					
	放射化学演習	2後		1		1					
	放射線生物学	1後	2			1					
	放射線生物学演習	2前		1		1					
	放射線計測学Ⅰ	2後	2			1					
	放射線計測学Ⅱ	3前	1			1					
	放射線計測学演習	3後		1		1			1		
	放射線計測学実験	3後	1			1					1
小計(37科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1後	1								1
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1後	1								1
	病理学	1前	1								1
	薬理学	2前	1								1
	生化学	1前	1								1
	公衆衛生学	1後	2								3
	内科学	1後		1							1
	看護技術論	2後	1								1
	臨床心理学	2前		1							1
	画像診断学Ⅰ	2後		2				1			1
	画像診断学Ⅱ	3前		2				1			1
	医療基礎生物学	1前		1							1
	医療基礎数学	1前		1							1
	医療基礎化学	1前		1		1					
	医療基礎物理学	1前	1								1
	医療電気・電子工学Ⅰ	1前	2			1					
	医療電気・電子工学Ⅱ	1後		2		1					
	医療電気・電子工学演習	2前		1		1					
	医療電気・電子工学実験	2後	1			1					
	医療統計学	2後	1							1	1
	放射線医療学概論	1前	2					1			1
	放射線救急医学	2後		1		1		2			
	放射線文献講読Ⅰ	3前		1		1					
	放射線文献講読Ⅱ	3後		1		1					
	放射線物理学Ⅰ	2前	2					1			
	放射線物理学Ⅱ	2後	2					1			
	放射線物理学演習	3前		1				1			
	放射化学	2前	2			1					
	放射化学演習	2後		1		1					
	放射線生物学	1後	2			1					
	放射線生物学演習	2前		1		1					
	放射線計測学Ⅰ	2後	2			1					
	放射線計測学Ⅱ	3前	1			1					
	放射線計測学演習	3後		1		1				1	
	放射線計測学実験	3前	1			1				2	
小計(37科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	診療放射線学概論	1前	2			1	1	1				
	診療画像検査学概論	1後	2			1	1	1				
	診療放射線学実習直前演習	3後	1			1						
	診療放射線学総合臨床実習	4前	2			1			1			
	診療画像解析学Ⅰ	1後	2			1	1					
	診療画像解析学Ⅱ	2前	2			1	1	1				
	診療画像解析学Ⅲ	2後	2			1		2				
	診療画像解析学演習	3前		1			1					
	診療画像解析学実習Ⅰ	3前	1			2	1		1			
	診療画像解析学実習Ⅱ	3前	1			1	1	1	1			
	診療画像解析学実習Ⅲ	3後	1			1		2	1			
	診療画像解析学特論	3後	2			1						9
	医療放射線機器学Ⅰ	1後	2				1					
	医療放射線機器学Ⅱ	2前	2				1					
	医療放射線機器学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解剖学Ⅰ	1後	2			1						
	診療画像解剖学Ⅱ	2前	2			1						
	診療画像解析学臨床実習Ⅰ	4前	2			2			1			
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	4前	2			2			1			
	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1						
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1						
	核医学機器工学	3前	2			1						
	核医学検査技術学演習	3前		1		1						
	核医学検査技術学実習	3後	1			1			1			
	核医学検査技術学臨床実習	4前	2			2			1			
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	2			1						
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			1						
	放射線治療機器工学	3前	2			1						
	放射線腫瘍学	3後	2									1
	放射線治療技術学演習	3前		1		1						
	放射線治療技術学実習	3後	1			1			1			
	放射線治療技術学臨床実習	4前	2			2			1			
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2			1						
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2			1						
	放射線情報システム学	3前	2			1						
	医療画像情報学演習	3後		1		1						
放射線安全管理学	3前	2			1							
診療放射線技師の義務と役割	2後	1			1							
放射線関係法規	2後	1			1							
医療安全管理学	3前	2			1							
放射線科学特別講義	4後		1		3						10	
診療放射線学総合演習	4通	2			9	1	2	1				
診療放射線技術と研究	3後	1			7							
診療放射線学研究Ⅰ	3後	1			9	1	2					
診療放射線学研究Ⅱ	4通	4			9	1	2					
小計(45科目)	-											
合計(121科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目群の選択科目から12単位、専門基礎科目群の選択科目から4単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	診療放射線学概論	1前	2			1	1	1				
	診療画像検査学概論	1後	2			1	1	1				
	診療放射線学実習直前演習	3後	1			1						
	診療放射線学総合臨床実習	4前	2			1				2		
	診療画像解析学Ⅰ	1後	2			1	1					
	診療画像解析学Ⅱ	2前	2				2					
	診療画像解析学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解析学演習	3前		1			2					
	診療画像解析学実習Ⅰ	3前	1			2	1		1			
	診療画像解析学実習Ⅱ	3前	1				2		2			
	診療画像解析学実習Ⅲ	3後	1			1		1	2			
	診療画像解析学特論	3後	2			1				1		8
	医療放射線機器学Ⅰ	1後	2				2					
	医療放射線機器学Ⅱ	2前	2				2					
	医療放射線機器学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解剖学Ⅰ	1後	2				2					
	診療画像解剖学Ⅱ	2前	2				2					
	診療画像解析学臨床実習Ⅰ	4前	2				1	1		2		
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	4前	2				1	1		2		
	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1						
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1						
	核医学機器工学	3前	2			1						
	核医学検査技術学演習	3前		1		1						
	核医学検査技術学実習	3後	1			1				2		
	核医学検査技術学臨床実習	4前	2			2			2	2		
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	2			1		1				
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			1		1				
	放射線治療機器工学	3前	2			1		1				
	放射線腫瘍学	3後	2									1
	放射線治療技術学演習	3前		1		1		1				
	放射線治療技術学実習	3後	1			1		1		1		
	放射線治療技術学臨床実習	4前	2			2		1		1		
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2			1				1		
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2			1				1		
	放射線情報システム学	3前	2			1						
	医療画像情報学演習	3後		1		1				1		
放射線安全管理学	3前	2					1					
診療放射線技師の義務と役割	2後	1					1					
放射線関係法規	2後	1					1					
医療安全管理学	3前	2					1					
放射線科学特別講義	4後		1		3						10	
診療放射線学総合演習	4通	2			9		7	4	1	1		
診療放射線技術と研究	3後	1			7		6					
診療放射線学研究Ⅰ	3後	1			9		7	4	1			
診療放射線学研究Ⅱ	4通	4			9		7	4	1			
小計(45科目)	-											
合計(121科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目群の選択科目から12単位、専門基礎科目群の選択科目から4単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前		1							1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1							1
	数学B	1後		1							1
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1							1
	物理学B	1後		1							1
	英語リーディング	1前	1								1
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1								1
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1			1					
	情報リテラシー	1後		1		1					
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1		1					1
小計（36科目）	-										
科目群 共通基盤	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計（3科目）	-									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								2
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前		1							1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1							1
	数学B	1後		1							1
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1							1
	物理学B	1後		1							1
	英語リーディング	1前	1								1
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1								1
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1				1				
	情報リテラシー	1後		1			1				
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1			1				1
小計（36科目）	-										
科目群 共通基盤	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計（3科目）	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1後	1								1
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1後	1								1
	病理学	1前	1								1
	薬理学	2前	1								1
	生化学	1前	1								1
	公衆衛生学	1後	2								1
	内科学	1後		1							1
	看護技術論	2後	1								1
	臨床心理学	2前		1							1
	画像診断学Ⅰ	2後		2							1
	画像診断学Ⅱ	3前		2							1
	医療基礎生物学	1前		1							1
	医療基礎数学	1前		1							1
	医療基礎化学	1前		1		1					
	医療基礎物理学	1前	1								1
	医療電気・電子工学Ⅰ	1前	2			1					
	医療電気・電子工学Ⅱ	1後		2		1					
	医療電気・電子工学演習	2前		1		1					
	医療電気・電子工学実験	2後	1			1					
	医療統計学	2後	1								1
	放射線医療学概論	1前	2			1					1
	放射線救急医学	2後		1			2				
	放射線文献講読Ⅰ	3前		1		1					
	放射線文献講読Ⅱ	3後		1		1					
	放射線物理学Ⅰ	2前	2					1			
	放射線物理学Ⅱ	2後	2					1			
	放射線物理学演習	3前		1				1			
	放射化学	2前	2			1					
	放射化学演習	2後		1		1					
	放射線生物学	1後	2			1					
	放射線生物学演習	2前		1		1					
	放射線計測学Ⅰ	2後	2			1					
	放射線計測学Ⅱ	3前	1			1					
	放射線計測学演習	3後		1		1			1		
	放射線計測学実験	3後	1			1				1	
小計(37科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1								1
	解剖学Ⅱ	1後	1								1
	生理学Ⅰ	1前	1								1
	生理学Ⅱ	1後	1								1
	病理学	1前	1								1
	薬理学	2前	1								1
	生化学	1前	1								1
	公衆衛生学	1後	2								1
	内科学	1後		1							1
	看護技術論	2後	1								1
	臨床心理学	2前		1							1
	画像診断学Ⅰ	2後		2				1			1
	画像診断学Ⅱ	3前		2				1			1
	医療基礎生物学	1前		1							1
	医療基礎数学	1前		1							1
	医療基礎化学	1前		1		1					
	医療基礎物理学	1前	1								1
	医療電気・電子工学Ⅰ	1前	2			1					
	医療電気・電子工学Ⅱ	1後		2		1					
	医療電気・電子工学演習	2前		1		1					
	医療電気・電子工学実験	2後	1			1					
	医療統計学	2後	1								1
	放射線医療学概論	1前	2					1			1
	放射線救急医学	2後		1					2		
	放射線文献講読Ⅰ	3前		1		1					
	放射線文献講読Ⅱ	3後		1		1					
	放射線物理学Ⅰ	2前	2					1			
	放射線物理学Ⅱ	2後	2					1			
	放射線物理学演習	3前		1				1			
	放射化学	2前	2			1					
	放射化学演習	2後		1		1					
	放射線生物学	1後	2			1					
	放射線生物学演習	2前		1		1					
	放射線計測学Ⅰ	2後	2			1					
	放射線計測学Ⅱ	3前	1			1					
	放射線計測学演習	3後		1		1				1	
	放射線計測学実験	3前	1			1				1	
小計(37科目)	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	診療放射線学概論	1前	2			1	1	1				
	診療画像検査学概論	1後	2			1	1	1				
	診療放射線学実習直前演習	3後	1			1						
	診療放射線学総合臨床実習	4前	2			1			1			
	診療画像解析学Ⅰ	1後	2			1	1					
	診療画像解析学Ⅱ	2前	2				2	1				
	診療画像解析学Ⅲ	2後	2			1		2				
	診療画像解析学演習	3前		1			2					
	診療画像解析学実習Ⅰ	3前	1			2	1		1			
	診療画像解析学実習Ⅱ	3前	1				2	1	1			
	診療画像解析学実習Ⅲ	3後	1			1		2	1			
	診療画像解析学特論	3後	2			1					9	
	医療放射線機器学Ⅰ	1後	2				2					
	医療放射線機器学Ⅱ	2前	2				2					
	医療放射線機器学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解剖学Ⅰ	1後	2				2					
	診療画像解剖学Ⅱ	2前	2				2					
	診療画像解析学臨床実習Ⅰ	4前	2			1	1		1			
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	4前	2			1	1		1			
	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1						
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1						
	核医学機器工学	3前	2			1						
	核医学検査技術学演習	3前		1		1						
	核医学検査技術学実習	3後	1			1			1			
	核医学検査技術学臨床実習	4前	2			2			1			
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	2			1						
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			1						
	放射線治療機器工学	3前	2			1						
	放射線腫瘍学	3後	2								1	
	放射線治療技術学演習	3前		1		1						
	放射線治療技術学実習	3後	1			1			1			
	放射線治療技術学臨床実習	4前	2			2			1			
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2			1						
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2			1						
	放射線情報システム学	3前	2			1						
医療画像情報学演習	3後		1		1							
放射線安全管理学	3前	2			1							
診療放射線技師の義務と役割	2後	1			1							
放射線関係法規	2後	1			1							
医療安全管理学	3前	2			1							
放射線科学特別講義	4後		1		3					10		
診療放射線学総合演習	4通	2			8	2	2	1				
診療放射線技術と研究	3後	1			6							
診療放射線学研究Ⅰ	3後	1			8	2	2					
診療放射線学研究Ⅱ	4通	4			8	2	2					
小計(45科目)	-											
合計(121科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目群の選択科目から12単位、専門基礎科目群の選択科目から4単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	診療放射線学概論	1前	2			1	1	1				
	診療画像検査学概論	1後	2			1	1	1				
	診療放射線学実習直前演習	3後	1			1						
	診療放射線学総合臨床実習	4前	2			1			1			
	診療画像解析学Ⅰ	1後	2			1	1					
	診療画像解析学Ⅱ	2前	2				2	1				
	診療画像解析学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解析学演習	3前		1			2					
	診療画像解析学実習Ⅰ	3前	1			2	1		1			
	診療画像解析学実習Ⅱ	3前	1				2	1	1			
	診療画像解析学実習Ⅲ	3後	1			1		1	1			
	診療画像解析学特論	3後	2			1					9	
	医療放射線機器学Ⅰ	1後	2				2					
	医療放射線機器学Ⅱ	2前	2				2					
	医療放射線機器学Ⅲ	2後	2			1		1				
	診療画像解剖学Ⅰ	1後	2				2					
	診療画像解剖学Ⅱ	2前	2				2					
	診療画像解析学臨床実習Ⅰ	4前	2			1	1		1			
	診療画像解析学臨床実習Ⅱ	4前	2			1	1		1			
	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			1						
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			1						
	核医学機器工学	3前	2			1						
	核医学検査技術学演習	3前		1		1						
	核医学検査技術学実習	3後	1			1			1			
	核医学検査技術学臨床実習	4前	2			2			1			
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	2			1	1					
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			1	1					
	放射線治療機器工学	3前	2			1	1					
	放射線腫瘍学	3後	2								1	
	放射線治療技術学演習	3前		1		1	1					
	放射線治療技術学実習	3後	1			1	1		1			
	放射線治療技術学臨床実習	4前	2			2	1		1			
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2			1						
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2			1						
	放射線情報システム学	3前	2			1						
医療画像情報学演習	3後		1		1							
放射線安全管理学	3前	2			1							
診療放射線技師の義務と役割	2後	1			1							
放射線関係法規	2後	1			1							
医療安全管理学	3前	2			1							
放射線科学特別講義	4後		1		3					10		
診療放射線学総合演習	4通	2			8	3	1	1				
診療放射線技術と研究	3後	1			6							
診療放射線学研究Ⅰ	3後	1			8	3	1					
診療放射線学研究Ⅱ	4通	4			8	3	1					
小計(45科目)	-											
合計(121科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目群の選択科目から12単位、専門基礎科目群の選択科目から4単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
70 科目	51 科目	0 科目	121 科目	70 科目 [0]	51 科目 [0]	0 科目 [0]	121 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{121} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 介護福祉士養成施設 群馬バス大学福祉専門学校 収容定員90名 面積基準→361.9㎡ 共用する専門学校の移転のため (29) 借用面積(運動場用地)：23,021㎡ 借用期間：本学が存続する期間 借用面積(その他)：1,189.82㎡ 借用期間：平成28年4月1日～平成49 年3月31日(以降自動継続)			
	校舎敷地	5,740.02 ㎡	0.00 ㎡ 25,813.00 ㎡	0.00 ㎡	5,740.02 ㎡ 31,553.02 ㎡				
	運動場用地	23,021.00 ㎡ 0.00 ㎡	0.00 ㎡ 23,021.00 ㎡	0.00 ㎡	23,021.00 ㎡ 23,021.00 ㎡				
	小 計	28,761.02 ㎡ 5,740.02 ㎡	0.00 ㎡ 48,834.00 ㎡	0.00 ㎡	28,761.02 ㎡ 54,574.02 ㎡				
	そ の 他	1,734.32 ㎡	0.00 ㎡ 632.00 ㎡	0.00 ㎡	1,734.32 ㎡ 2,366.32 ㎡				
	合 計	30,495.34 ㎡ 7,474.34 ㎡	0.00 ㎡ 49,466.00 ㎡	0.00 ㎡	30,495.34 ㎡ 56,940.34 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 介護福祉士養成施設 群馬バス大学福祉専門学校 収容定員90名 面積基準→361.9㎡ 共用する専門学校の移転のため (29)				
	20,911.41 ㎡ 18,528.95 ㎡ (20,911.41 ㎡) (18,528.95 ㎡)	0.00 ㎡ 4,687.93 ㎡ (0.00 ㎡) (4,687.93 ㎡)	0.00 ㎡ 2,173.06 ㎡ (0.00 ㎡) (2,173.06 ㎡)	20,911.41 ㎡ 25,389.94 ㎡ (20,911.41 ㎡) (25,389.94 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	18 室 20 室	36 室 37 室 46 室	46 室	2 室 (補助職員 0 人)	1 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健科学部 放射線学科			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分を含む 図書 48,111冊 45,541冊 39,538冊 〔6,173冊〕 〔5,810冊〕 〔4,400冊〕 学術雑誌1,170 1,154種 1,012種 〔126種〕 〔420種〕	
	放射線学科	1,500 1,095 [61] (1,278 [45]) (993) (547 [41])	15 [6] (12 [3]) (11 [2])	1,471 [1,471] (1,471 [1,471])	10 (10)	965 (550)	211 (16)		
	計	1,500 1,095 [61] (1,278 [45]) (993) (547 [41])	15 [6] (12 [3]) (11 [2])	1,471 [1,471] (1,471 [1,471])	10 (10)	965 (550)	211 (16)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				大学全体		
	921.76㎡	215 -198-席	71,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	3,345.20㎡	該当なし							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	6,409千円	2,500千円	2,500千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、寄附金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	群馬パース大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
保健科学部	4	320	-	1,280	-	1.14	-	平成17	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.10	-	平成17	群馬県高崎市問屋 町一丁目7番地1	
理学療法学科	4	60	-	240	学士 (理学療法 学)	1.18	-	平成17	同上	
検査技術学科	4	60	-	240	学士 (臨床検査 学)	1.15	-	平成25	同上	
放射線学科	4	70	-	280	学士 (放射線 学)	1.14	平成29	平成29	群馬県高崎市問屋 町三丁目3番4	
臨床工学科	4	50	-	200	学士 (臨床工 学)	1.21	平成29	平成29	同上	
大学全体	-	320	-	1,280	-	1.14	-	-	-	
大学 の 名 称	群馬パース大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
保健科学研究科										
保健科学専攻	-	10	-	22	-	1.05	-	平成21	群馬県高崎市問屋 町一丁目7番地1	
博士前期課程	2	8	-	16	修士 (保健学)	1.06	-	平成21	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (医療科 学)	1.00	平成30	平成30	同上	
大学全体	-	10	-	22	-	1.05	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	1	2	1	13	7	4	1	2	14
(6)	(1)	(1)	(0)	(8)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
7	4	1	2	14	7	4	1	2	14
[Δ2]	[3]	[Δ1]	[1]	[1]	[Δ2]	[3]	[Δ1]	[1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{13} = \boxed{107.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 放射線学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD委員会がFD活動を、大学院共通組織であるSD委員会がSD活動をそれぞれ担当する（規程は別紙のとおり）。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
会議は毎月1回開催している。委員教職員の日程を調整して開催日を決定しているため、不測の事情がない限り毎回全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- 1) FD・SD活動の企画、立案及び実施に関する事項
- 2) 本学教職員を対象とする職業能力向上のための研修の管理に関する事項
- 3) その他、FD・SDの推進に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ SD研修会
- ・ SDワークショップ
- ・ 学生による授業アンケート（前期・後期の年2回実施）
- ・ ピアレビュー（前期・後期の年2回実施）
- ・ FDネットワーク“つばさ”への参加
- ・ ホームページの更新（随時）
- ・ 自己点検評価書への教育活動の記録、研究活動の記録、FD・SD活動の記録の収録

b 実施方法
「学生による授業アンケート」、「ピアレビュー」ともに前期・後期の年2回実施。
自己点検評価書は記録資料の収集・資料化・分析と執筆。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
「SD研修会」、「SDワークショップ」ともに年1回開催。
実習指導等の校務の者を除いて、原則全教員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
研修会・ワークショップともに実施後、実施報告及びアンケート集計結果を全教職員が共有する。
必要に応じてFD委員会またはSD委員会の協議事項として改善対応を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期末の年2回、全科目を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
「学生による授業アンケート」は、集計分析後、各科目担当に還元するとともに、ホームページに掲載し公表している。また必要に応じてFD委員会またはSD委員会の協議事項として改善対応を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

チーム医療の一翼を担う診療放射線技師の業務内容は、高度化、細分化が進み、かつ高度な知識のみならず医療専門職としての高い倫理観、他の医療従事者との協調や協働、患者とのコミュニケーション能力等、新しい課題に適応できる問題解決能力を持つことが必要とされる。また、福島第一原子力発電所事故では、診療放射線技師の役割として、医療における放射線管理のみならず、環境放射線の管理を担うことが再認識されている。

本学では、放射線に関する基礎技術を重視し、放射線安全管理、放射線防護、リスクマネジメント、コミュニケーションスキルなどの人材育成を中心としたカリキュラムにより放射線学専門分野の知識と技術を習得し、チーム医療を推進できるメンバーとして、問題発見、問題解決能力を兼ね備えた診療放射線技師の養成を目指し、新たに「放射線学科」を開設した。

平成31年4月には77名が入学し、1～3学年で設置計画どおりの教育課程が進行中である。

1. 教員組織に関する事項

専任教員については、家庭の事情により教授1名が辞任となったが、新規に准教授1名、助教1名を採用した。現在、放射線学科では14名の専任教員（教授7名、准教授4名、講師1名、助教2名）及び助手3名により教育・研究活動が実施されている。大学全体及び学部、各学科における大学設置基準上の専任教員数は基準を満たしており、教育課程においても問題なく進行中である。兼任教員については、兼任教員の都合により軽微な変更が生じたが、教育・研究業績の豊富な他の兼任教員等の補充ができたため、開講科目を変更することなく実施している。

2. 入学者選抜に関する事項

平成31年度入試における放射線学科の入学試験の状況は、順調に広報活動を行うことができたことにより、高校生や高校教員、保護者等にも受け入れられ、志願者は概ね期待通りに集めることができた。最終的な入学者数は、入学定員の1.10倍となった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成26年6月「自己点検評価書」を作成。同年7月よりホームページにて公表。

平成30年6月「自己点検評価書」を作成。翌年4月よりホームページにて公表。

b 公表方法

平成26年7月に「自己点検評価書」をホームページ上に掲載。

平成31年4月に「自己評価報告書」及び認証評価結果をホームページ上に掲載。

③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審。

令和7年度に評価機関（同上）の評価受審を予定している。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年9月2日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人群馬パース学園

(2) 大学名

群馬パース大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町三丁目3番4
 (〒370-0006 群馬県高崎市問屋町一丁目7番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒグチ ケンスケ) 樋口 建介 (平成21年6月1日)		
学長	(クリタ マサヒロ) 栗田 昌裕 (平成26年4月1日)		
学部長	(タカハシ マサアキ) 高橋 正明 (平成26年4月1日)	(フジタ キヨタカ) 藤田 清貴 (平成30年4月1日)	任期満了に伴い交代 平成30年4月1日 (30)
学科長等	(シバモト タカシ) 芝本 隆 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健科学部 臨床工学科 学士(臨床工学)	保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50人 (-) [-]	-人	50人 (-) [-]	-人	50人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人			
志願者数	294 (-) [-]	-	243 (-) [-]	-	282 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
受験者数	284 (-) [-]	-	239 (-) [-]	-	278 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
合格者数	129 (-) [-]	-	93 (-) [-]	-	102 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
B 入学者数	66 (-) [-]	-	59 (-) [-]	-	57 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.32		1.18		1.14						1.21倍	-倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	66 [-] (-)	- [-] (-)	63 [-] (4)	- [-] (-)	61 [-] (4)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		59 [-] (-)	- [-] (-)	54 [-] (1)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		58 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	66 [-] (-)		122 [-] (4)		173 [-] (5)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	66 人	3 人	平成29年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学(1人)
平成30年度	122 人	6 人	平成29年度	0 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学(1人)、就職(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、家庭の事情(1人)
			平成30年度	6 人	0 人	
令和元年度	173 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
合計		9 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{66} = \boxed{4.54} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{122} = \boxed{4.91} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 臨床工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前	1								1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前	1						1		
	数学B	1後		1					1		
	化学A	1前	1								1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前	1						1		
	物理学B	1後		1					1		
	英語リーディング	1前	1			1					
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1			1					
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1								1
	情報リテラシー	1後		1							1
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1							2
小計(36科目)	-										
共通基盤科目群	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計(3科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2						1		1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前	1								1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前	1							1	
	数学B	1前	1							1	
	化学A	1前	1								1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前	1							1	
	物理学B	1後		1						1	
	英語リーディング	1前	1			1					
	医療英語会話	1後	1								1
	医療英語リーディング	2後	1			1					
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1					1		1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前	1								2
	情報リテラシー	1後		1							2
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1							2
小計(36科目)	-										
共通基盤科目群	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計(3科目)	-									

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学Ⅱ	1後	1			1						
	生理学Ⅰ	1前	1									1
	生理学Ⅱ	1後	1									1
	病理学	1前	1			1						
	薬理学	1後	1									1
	生化学	1前	1									1
	公衆衛生学	1後	2									1
	医学概論	1前	1			1						
	基礎医学実習	2後	1			1						
	看護学概論	2後	1									1
	臨床生理学	2前	1			1						
	臨床病理学	2後	1			1						
	臨床薬理学	2後	1			1						
	臨床生化学	2前	1									1
	臨床免疫学	2後	1			1						
	臨床心理学	2前		1								1
	臨床検査学総論	2後		2								1
	臨床神経生理学	2前		2								1
	応用数学	1前	2							1		
	応用数学演習	1後	1							1		
	医用電気工学	1前	2				1					
	医用電気工学実習	1後	1				1			1		
	医用電子工学	2前	2							1		
	医用電子工学実習	2後	1							2		
	計測工学	1後	2						1			
	医用材料工学	2後	2				1					
	医用機械工学	2前	2							1		
	医用機械工学演習	2後	1						1	1		
	医療情報処理工学	2前	2							1		
	医療情報処理工学演習	2後	1							1		
	システム工学	3前	2						1			
	システム工学演習	3後	1						1			
	医用情報通信工学	3前	1						1			
	基礎工学実験	1後	1						1			
小計(35科目)	-	-										

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学Ⅱ	1後	1			1						
	生理学Ⅰ	1前	1									1
	生理学Ⅱ	1後	1									1
	病理学	1前	1			1						
	薬理学	1後	1									1
	生化学	1前	1									1
	公衆衛生学	1後	2									3
	医学概論	1前	1			1						
	基礎医学実習	2後	1			1						
	看護学概論	2後	1									1
	臨床生理学	2前	1			1						
	臨床病理学	2後	1			1						
	臨床薬理学	2後	1			1						
	臨床生化学	2前	1									1
	臨床免疫学	2後	1			1						
	臨床心理学	2前		1								1
	臨床検査学総論	2後		2								1
	臨床神経生理学	2前		2								2
	応用数学	1前	2								1	
	応用数学演習	1後	1								1	
	医用電気工学	1前	2				1					
	医用電気工学実習	1後	1				1			1		
	医用電子工学	2前	2								1	
	医用電子工学実習	2後	1								2	
	計測工学	1後	2							1		
	医用材料工学	2後	2				1					
	医用機械工学	2前	2							1		
	医用機械工学演習	2後	1						1	1		
	医療情報処理工学	2前	2								1	
	医療情報処理工学演習	2後	1								1	
	システム工学	3前	2							1		
	システム工学演習	3後	1							1		
	医用情報通信工学	3前	1							1		
	基礎工学実験	1後	1							1		
小計(35科目)	-	-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	医用工学概論	1前	1			1						1
	医用超音波工学	2前	1				1					
	放射線工学概論	2後	1									
	医用レーザー工学	3前		2			1					
	医用画像処理工学	3前		2					1			
	生体物性工学	3前	2				1					
	人間工学	2後	2					1				
	医用機器学概論	1後	2			1						
	医用治療機器学	3前	2					1				
	医用治療機器学実習	3後	1					1	1			
	生体計測装置学	2前	2				1					
	生体計測装置学実習	2後	1				1		1			
	生体機能代行装置学Ⅰ	3前	2			1						
	生体機能代行装置学Ⅱ	3前	2			1						
	生体機能代行装置学実習	3後	1			1			1			
	呼吸療法装置学	3前	2					1				
	呼吸療法装置学実習	3後	1					1	1			
	体外循環装置学	3前	2					1				
	体外循環装置学実習	3後	1					1	1			
	血液浄化療法装置学	3前	2					1				
	血液浄化療法装置学実習	3後	1					1	1			
	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2					1				
	医用機器安全管理学Ⅱ	2前	2					1				
	医用機器安全管理学実習	2後	1					1	1			
	医療安全工学	2後		2				1				
	関係法規	3前	1								1	
	臨床医学総論Ⅰ	2前	2			1						
	臨床医学総論Ⅱ	2後	2			1						
	臨床医学総論Ⅲ	3前	2			1						
	救急救命医学	3前		2				1				
	臨床実習Ⅰ	3後	4			1	1	3				
	臨床実習Ⅱ	3後	3			1	1	3				
	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	2					1				
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2					1				
	臨床工学英文講読	3後		2				1				
	臨床工学研究セミナー	4前		2		1						
	卒業研究	4通	4			2	1	3	2			
	小計 (37科目)	-										
	合計(111科目)	-										

卒業要件及び履修方法

必修科目112単位，教養科目群の選択科目から8単位，専門基礎科目群の選択科目から2単位，専門科目群の選択科目から6単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：半期24単位 (年間48単位))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	医用工学概論	1前	1			1					1	
	医用超音波工学	2前	1				1					
	放射線工学概論	2後	1									
	医用レーザー工学	3前		2			1					
	医用画像処理工学	3前		2			1		1			
	生体物性工学	3前	2				1					
	人間工学	2後	2					1				
	医用機器学概論	1後	2			1	1					
	医用治療機器学	3前	2					1				
	医用治療機器学実習	3後	1					1	2			
	生体計測装置学	2前	2				1					
	生体計測装置学実習	2後	1				1		1			
	生体機能代行装置学Ⅰ	3前	2			1						
	生体機能代行装置学Ⅱ	3前	2			1						
	生体機能代行装置学実習	3後	1			1			1			
	呼吸療法装置学	3前	2					1				
	呼吸療法装置学実習	3後	1					1	1			
	体外循環装置学	3前	2					1				
	体外循環装置学実習	3後	1					1	2			
	血液浄化療法装置学	3前	2					1				
	血液浄化療法装置学実習	3後	1					1	1			
	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2					1	1			
	医用機器安全管理学Ⅱ	2前	2					1	1			
	医用機器安全管理学実習	2後	1					1	1	1		
	医療安全工学	2後		2				1				
	関係法規	3前	1									1
	臨床医学総論Ⅰ	2前	2			1						
	臨床医学総論Ⅱ	2後	2			1						
	臨床医学総論Ⅲ	3前	2			1						
	救急救命医学	3前		2				1				
	臨床実習Ⅰ	3後	4			1	2	3				
	臨床実習Ⅱ	3後	3			1	2	3				
	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	2					1	1	1		
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2					1	1	1		
	臨床工学英文講読	3後		2				1				
	臨床工学研究セミナー	4前		2		1						
	卒業研究	4通	4			2	2	3	3			
	小計 (37科目)	-										
	合計(111科目)	-										

卒業要件及び履修方法

必修科目112単位，教養科目群の選択科目から8単位，専門基礎科目群の選択科目から2単位，専門科目群の選択科目から6単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：半期24単位 (年間48単位))

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2								1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前	1								1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1					1		
	数学B	1前		1					1		
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1					1		
	物理学B	1後		1					1		
	英語リーディング	1前		1		1					
	医療英語会話	1後		1							1
	医療英語リーディング	2後		1		1					
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前		1							1
	情報リテラシー	1後		1							1
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1							2
小計(36科目)	-										
共通基盤科目群	大学の学び入門	1前	1			1					2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1			1					1
	多職種理解と連携	2前	1			1					4
	小計(3科目)	-									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	心理学	1後	2								1
	教育学	1前		2							1
	教育心理学	1後		2							1
	健康スポーツ理論	1前		1							1
	健康スポーツ実技	1後		1							1
	生命倫理	2前	2						1		1
	哲学	1前		2							1
	現代文学	1前		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	法学（日本国憲法含む）	1前		2							1
	社会学	1後		2							1
	生活文化と医療	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	地域ボランティア活動論	2前		1							1
	環境学	1前		2							1
	生物学A	1前	1								1
	生物学B	1後		1							1
	数学A	1前		1						1	
	数学B	1前		1						1	
	化学A	1前		1							1
	化学B	1後		1							1
	物理学A	1前		1						1	
	物理学B	1後		1						1	
	英語リーディング	1前		1			1				
	医療英語会話	1後		1							1
	医療英語リーディング	2後		1			1				
	英語会話	2前		1							1
	英語アカデミックリーディング・ライティング	3前		1							1
	中国語	1前		1							1
	コリア語	1前		1							1
	ドイツ語	1前		1							1
	ポルトガル語	1前		1							1
	情報処理	1前		1							1
	情報リテラシー	1後		1							1
	囲碁で学ぶ情報戦略	1後		1							2
小計(36科目)	-										
共通基盤科目群	大学の学び入門	1前	1				1				2
	大学の学び-専門への誘い-	1後	1				1				1
	多職種理解と連携	2前	1				1				4
	小計(3科目)	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学Ⅱ	1後	1			1						
	生理学Ⅰ	1前	1									1
	生理学Ⅱ	1後	1									1
	病理学	1前	1			1						
	薬理学	1後	1									1
	生化学	1前	1									1
	公衆衛生学	1後	2									1
	医学概論	1前	1			1						
	基礎医学実習	2後	1			1						
	看護学概論	2後	1									1
	臨床生理学	2前	1			1						
	臨床病理学	2後	1			1						
	臨床薬理学	2後	1			1						
	臨床生化学	2前	1									1
	臨床免疫学	2後	1			1						
	臨床心理学	2前		1								1
	臨床検査学総論	2後		2								1
	臨床神経生理学	2前		2								1
	応用数学	1前	2						1			
	応用数学演習	1後	1						1			
	医用電気工学	1前	2				1					
	医用電気工学実習	1後	1				1		1			
	医用電子工学	2前	2						1			
	医用電子工学実習	2後	1						2			
	計測工学	1後	2						1			
	医用材料工学	2後	2				1					
	医用機械工学	2前	2						1			
	医用機械工学演習	2後	1						1	1		
	医療情報処理工学	2前	2						1			
	医療情報処理工学演習	2後	1						1			
	システム工学	3前	2						1			
	システム工学演習	3後	1						1			
	医用情報通信工学	3前	1						1			
	基礎工学実験	1後	1						1			
小計(35科目)		-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1前	1			1						
	解剖学Ⅱ	1後	1			1						
	生理学Ⅰ	1前	1									1
	生理学Ⅱ	1後	1									1
	病理学	1前	1			1						
	薬理学	1後	1									1
	生化学	1前	1									1
	公衆衛生学	1後	2									1
	医学概論	1前	1			1						
	基礎医学実習	2後	1			1						
	看護学概論	2後	1									1
	臨床生理学	2前	1			1						
	臨床病理学	2後	1			1						
	臨床薬理学	2後	1			1						
	臨床生化学	2前	1									1
	臨床免疫学	2後	1			1						
	臨床心理学	2前		1								1
	臨床検査学総論	2後		2								1
	臨床神経生理学	2前		2								2
	応用数学	1前	2								1	
	応用数学演習	1後	1								1	
	医用電気工学	1前	2				1					
	医用電気工学実習	1後	1				1				2	
	医用電子工学	2前	2								1	
	医用電子工学実習	2後	1								3	
	計測工学	1後	2							1		
	医用材料工学	2後	2				1					
	医用機械工学	2前	2							1		
	医用機械工学演習	2後	1							1	2	
	医療情報処理工学	2前	2								1	
	医療情報処理工学演習	2後	1								1	
	システム工学	3前	2							1		
	システム工学演習	3後	1							1		
	医用情報通信工学	3前	1							1		
	基礎工学実験	1後	1							1		
小計(35科目)		-										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手							
専門科目群	医用工学概論	1前	1			1											1
	医用超音波工学	2前	1				1										
	放射線工学概論	2後	1														
	医用レーザ工学	3前		2			1										
	医用画像処理工学	3前		2						1							
	生体物性工学	3前	2				1										
	人間工学	2後	2						1								
	医用機器学概論	1後	2				1										
	医用治療機器学	3前	2							1							
	医用治療機器学実習	3後	1							1	2						
	生体計測装置学	2前	2					1									
	生体計測装置学実習	2後	1					1			1						
	生体機能代行装置学Ⅰ	3前	2				1										
	生体機能代行装置学Ⅱ	3前	2				1										
	生体機能代行装置学実習	3後	1				1				1						
	呼吸療法装置学	3前	2							1							
	呼吸療法装置学実習	3後	1							1	1						
	体外循環装置学	3前	2							1							
	体外循環装置学実習	3後	1							1	2						
	血液浄化療法装置学	3前	2							1							
	血液浄化療法装置学実習	3後	1							1	1						
	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2							1							
	医用機器安全管理学Ⅱ	2前	2							1							
	医用機器安全管理学実習	2後	1							1	1						
	医療安全工学	2後		2						1							
	関係法規	3前	1														1
	臨床医学総論Ⅰ	2前	2				1										
	臨床医学総論Ⅱ	2後	2				1										
	臨床医学総論Ⅲ	3前	2				1										
	救急救命医学	3前		2						1							
	臨床実習Ⅰ	3後	4				1	1	3								
	臨床実習Ⅱ	3後	3				1	1	3								
	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	2							1	1						
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2							1	1						
	臨床工学英文講読	3後		2						1							
	臨床工学研究セミナー	4前		2			1										
	卒業研究	4通	4				2	1	3	3							
小計(37科目)	-																
合計(111科目)	-																

卒業要件及び履修方法

必修科目112単位、教養科目群の選択科目から8単位、専門基礎科目群の選択科目から2単位、専門科目群の選択科目から6単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手							
専門科目群	医用工学概論	1前	1			1											
	医用超音波工学	2前	1				1										
	放射線工学概論	2後	1														1
	医用レーザ工学	3前		2			1										
	医用画像処理工学	3前		2									1				
	生体物性工学	3前	2				1										
	人間工学	2後	2										1				
	医用機器学概論	1後	2				1										
	医用治療機器学	3前	2								1						
	医用治療機器学実習	3後	1								1	3					
	生体計測装置学	2前	2					1									
	生体計測装置学実習	2後	1					1				2					
	生体機能代行装置学Ⅰ	3前	2				1										
	生体機能代行装置学Ⅱ	3前	2				1										
	生体機能代行装置学実習	3後	1				1					2					
	呼吸療法装置学	3前	2								1						
	呼吸療法装置学実習	3後	1								1	2					
	体外循環装置学	3前	2								1						
	体外循環装置学実習	3後	1								1	3					
	血液浄化療法装置学	3前	2								1						
	血液浄化療法装置学実習	3後	1								1	2					
	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2								1						
	医用機器安全管理学Ⅱ	2前	2								1						
	医用機器安全管理学実習	2後	1								1	2					
	医療安全工学	2後		2							1						
	関係法規	3前	1														1
	臨床医学総論Ⅰ	2前	2				1										
	臨床医学総論Ⅱ	2後	2				1										
	臨床医学総論Ⅲ	3前	2				1										
	救急救命医学	3前		2							1						
	臨床実習Ⅰ	3後	4				1	1	3								
	臨床実習Ⅱ	3後	3				1	1	3								
	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	2								1	1					
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2								1	1					
	臨床工学英文講読	3後		2							1						
	臨床工学研究セミナー	4前		2			1										
	卒業研究	4通	4				2	1	3	4							
小計(37科目)	-																
合計(111科目)	-																

卒業要件及び履修方法

必修科目112単位、教養科目群の選択科目から8単位、専門基礎科目群の選択科目から2単位、専門科目群の選択科目から6単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：半期24単位(年間48単位))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
76 科目	35 科目	0 科目	111 科目	76 科目 [0]	35 科目 [0]	0 科目 [0]	111 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{111} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	【共用する学校】 介護福祉士養成施設 群馬バス大学福祉専門学校 収容定員90名 面積基準→361.9㎡ 共用する専門学校の移転のため (29) 借用面積(運動場用地)：23,021㎡ 借用期間：本学が存続する期間 借用面積(その他)：1,189.82㎡ 借用期間：平成28年4月1日～平成49年3月31日(以降自動継続)			
	校舎敷地	5,740.02 ㎡	0.00 ㎡ 25,813.00 ㎡	0.00 ㎡	5,740.02 ㎡ 31,553.02 ㎡				
	運動場用地	23,021.00 ㎡ 0.00 ㎡	0.00 ㎡ 23,021.00 ㎡	0.00 ㎡	23,021.00 ㎡				
	小 計	28,761.02 ㎡ 5,740.02 ㎡	0.00 ㎡ 48,834.00 ㎡	0.00 ㎡	28,761.02 ㎡ 54,574.02 ㎡				
	そ の 他	1,734.32 ㎡	0.00 ㎡ 632.00 ㎡	0.00 ㎡	1,734.32 ㎡ 2,366.32 ㎡				
	合 計	30,495.34 ㎡ 7,474.34 ㎡	0.00 ㎡ 49,466.00 ㎡	0.00 ㎡	30,495.34 ㎡ 56,940.34 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	【共用する学校】 介護福祉士養成施設 群馬バス大学福祉専門学校 収容定員90名 面積基準→361.9㎡ 共用する専門学校の移転のため (29)				
	20,911.41 ㎡ 18,528.95 ㎡ (20,911.41 ㎡) (18,528.95 ㎡)	0.00 ㎡ 4,687.93 ㎡ (0.00 ㎡) (4,687.93 ㎡)	0.00 ㎡ 2,173.06 ㎡ (0.00 ㎡) (2,173.06 ㎡)	20,911.41 ㎡ 25,389.94 ㎡ (20,911.41 ㎡) (25,389.94 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 0 人) (補助職員 0 人)			
	18 室 20 室	36 室 37 室 46 室	46 室	2 室	1 室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健科学部 臨床工学科			12 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分を含む 図書 48,111冊 45,541冊 39,538冊 〔6,173冊〕 〔5,810冊〕 〔4,100冊〕 学術雑誌 1,170 1,154種 1,012種 〔126種〕 〔420種〕	
	臨床工学科	1,500 1,135 [32]	15 [6]	1,472 [1,472]	10	658	24		
		1,335 (978) (315 [12])	(13 [3]) (11 [1])	(1,472 [1,472])	(10)	(350)	(24)		
	計	1,500 1,135 [32]	15 [6]	1,472 [1,472]	10	658	24		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	921.76㎡		215 -168-席		71,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				該当なし		
	3,345.20㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当たり研究費等	250千円	250千円	図書購入費	3,293千円	2,500千円	2,500千円	
		共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	80,000千円	75,000千円	5,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、寄附金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数字を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称		群馬パース大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
保健科学部	4	320	-	1,280	-	1.14	-	平成17	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.10	-	平成17	群馬県高崎市問屋 町一丁目7番地1	
理学療法学科	4	60	-	240	学士 (理学療法 学)	1.18	-	平成17	同上	
検査技術学科	4	60	-	240	学士 (臨床検査 学)	1.15	-	平成25	同上	
放射線学科	4	70	-	280	学士 (放射線 学)	1.14	平成29	平成29	群馬県高崎市問屋 町三丁目3番4	
臨床工学科	4	50	-	200	学士 (臨床工 学)	1.21	平成29	平成29	同上	
大学全体	-	320	-	1,280	-	1.14	-	-	-	
大学 の 名 称		群馬パース大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
保健科学研究科										
保健科学専攻	-	10	-	22	-	1.05	-	平成21	群馬県高崎市問屋 町一丁目7番地1	
博士前期課程	2	8	-	16	修士 (保健学)	1.06	-	平成21	同上	
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (医療科 学)	1.00	平成30	平成30	同上	
大学全体	-	10	-	22	-	1.05	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	1	3	2	10	4	2	4	3	13
(4)	(1)	(3)	(2)	(10)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
4	2	4	3	13	4	2	4	3	13
[0]	[1]	[1]	[1]	[3]	[0]	[1]	[1]	[1]	[3]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{10} = \boxed{130} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	保健科学部臨床工学科 の入学定員超過の改善 に努めること。	改善意見 臨床工学科における入学定 員超過の改善に努めた結 果、平成30年度は入学定員 50名に対し入学者は59名と なった。入学定員超過率は 1.18倍となり、平均入学定 員超過率も1.25倍と改善さ れている。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD委員会がFD活動を、大学院共通組織であるSD委員会がSD活動をそれぞれ担当する(規程は別紙のとおり)。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
会議は毎月1回開催している。委員教職員の日程を調整して開催日を決定しているため、不測の事情がない限り毎回全員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- 1) FD・SD活動の企画、立案及び実施に関する事項
- 2) 本学教職員を対象とする職業能力向上のための研修の管理に関する事項
- 3) その他、FD・SDの推進に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ SD研修会
- ・ SDワークショップ
- ・ 学生による授業アンケート(前期・後期の年2回実施)
- ・ ピアレビュー(前期・後期の年2回実施)
- ・ FDネットワーク“つばさ”への参加
- ・ ホームページの更新(随時)
- ・ 自己点検評価書への教育活動の記録、研究活動の記録、FD・SD活動の記録の収録

b 実施方法
「学生による授業アンケート」、「ピアレビュー」ともに前期・後期の年2回実施。
自己点検評価書は記録資料の収集・資料化・分析と執筆。

c 開催状況(教員の参加状況含む)
「SD研修会」、「SDワークショップ」ともに年1回開催。
実習指導等の校務の者を除いて、原則全教職員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
研修会・ワークショップともに実施後、実施報告及びアンケート集計結果を全教職員が共有する。
必要に応じてFD委員会またはSD委員会の協議事項として改善対応を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期末の年2回、全科目を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
「学生による授業アンケート」は、集計分析後、各科目担当に還元するとともに、ホームページに掲載し公表している。また必要に応じてFD委員会またはSD委員会の協議事項として改善対応を行う。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療機器の進歩は著しく、医療技術の高度化、複雑化が行われ、常に新しい技術が応用されている。この優れた技術の進歩に対応するために必要な知識と技術を身に付け、医療現場に高まる医療の質、安全性、適正化、効率化などの期待に応えることのできる高い倫理観を持った臨床工学技士の育成が必要とされる。

本学では、地域社会の中で求められる、豊かな教養と人間愛を兼ね備えた質の高い保健医療専門職を育成するという保健科学部の目的のもと、臨床工学専門分野の知識と技術を習得するとともに、チーム医療を推進できるメンバーの一人として問題発見、問題解決能力を兼ね備えた臨床工学技士の養成を目指し、新たに「臨床工学科」を開設した。

平成31年4月には57名が入学し、1～3学年で設置計画どおりの教育課程が進行中である。

1. 教員組織に関する事項

専任教員については、体調不良により助教1名が辞任となったが、新規に准教授1名を採用した。大学全体及び学部、各学科における大学設置基準上の専任教員数は基準を満たしており、教育課程においても問題なく進行中である。現在、臨床工学科では13名の専任教員（教授4名、准教授2名、講師4名、助教3名）及び助手2名により教育・研究活動が実施されている。兼任教員等については、兼任教員等の都合により軽微な変更が生じたが、教育・研究業績の豊富な他の兼任教員の補充ができたため、開講科目を変更することなく実施している。

2. 入学者選抜に関する事項

平成31年度入試における臨床工学科の入学試験の状況は、順調に広報活動を行うことができたことにより、高校生や高校教員、保護者等にも受け入れられ、志願者は概ね期待通りに集めることができた。最終的な入学者数は、入学定員の1.14倍となった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成26年6月「自己点検評価書」を作成。同年7月よりホームページにて公表。

平成30年6月「自己点検評価書」を作成。翌年4月よりホームページにて公表。

b 公表方法

平成26年7月に「自己点検評価書」をホームページ上に掲載。

平成31年4月に「自己評価報告書」及び認証評価結果をホームページ上に掲載。

③ 認証評価を受ける計画

平成30年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審。

令和7年度に評価機関（同上）の評価受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和 元 年 9 月 2 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。